最新の進路就職状況と本学の取組みについて説明します。

２０１８年度　進路・就職実績のご報告

２０１７年度　就職決定率

９８．０％

（前年度：９７．９％）

	法	経済	商	文	総合政策	理工	合計
計	98.3	98.1	97.9	97.3	98.7	98.4	98.0
男	98.0	97.7	97.6	96.4	99.2	98.4	97.7
女	98.7	99.2	98.4	98.0	98.2	98.7	98.5

【Point】
・就職決定率＝就職決定者÷就職希望者
学部によって大きな差がないという点が特徴です。

２０１７年度　Uターン実績

Uターン率

２９．７９％

（前年度：３０．１９％）

地方出身学生比率

約３３％

（前年度：約３２％）

各地域ごとのUターン率

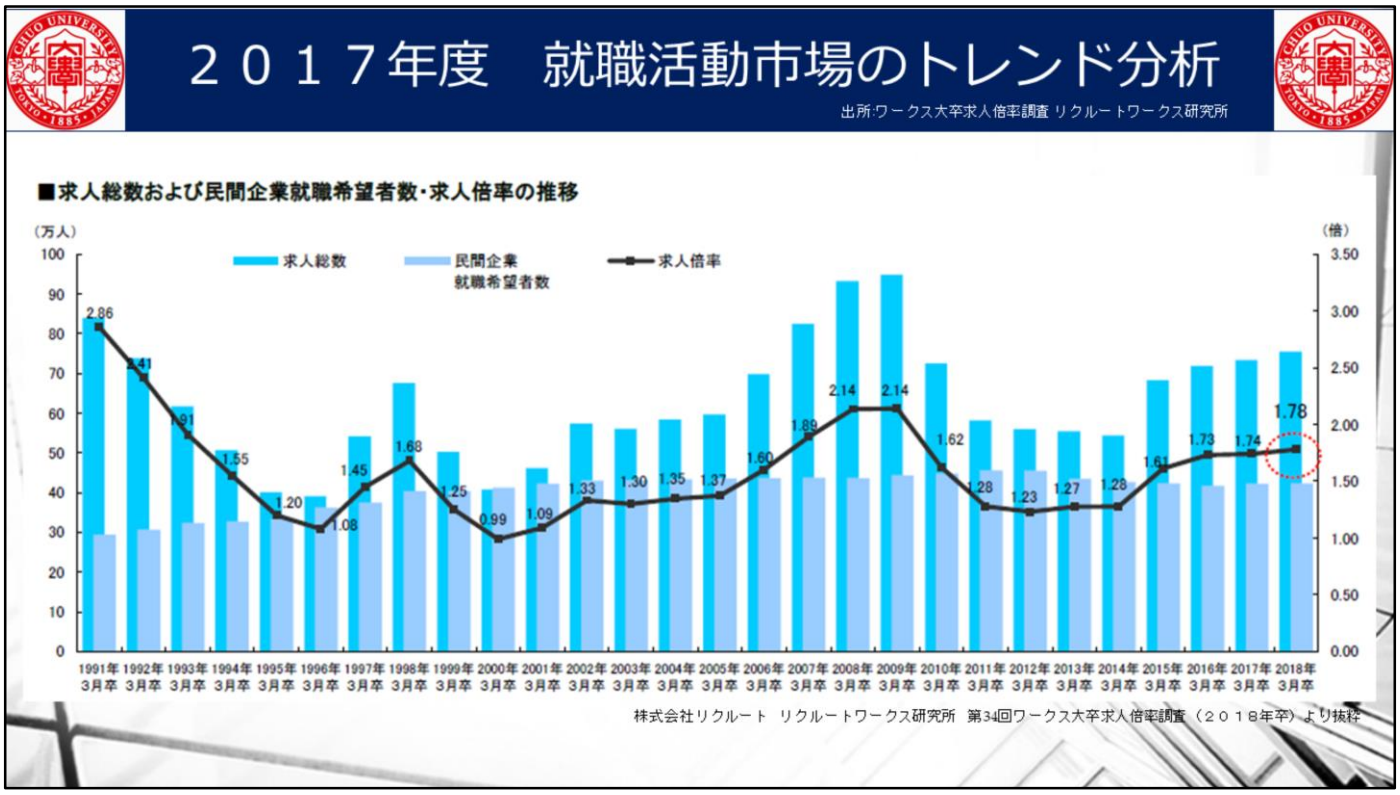
北海道	９．４２％	中　国	１２．７３％
東　北	１８．３５％	四　国	１６．８８％
関　東	３４．５１％	九　州	１６．７４％
中　部	２１．８８％	沖　縄	３２．１４％
近　畿	１０．４０％		

UIターン促進協定（２０１８年３月現在）

【就職支援に関する協定を締結した自治体】
群馬県、新潟県、香川県、秋田県、
栃木県、石川県、広島県、北海道、
兵庫県、福岡県、鳥取県、岡山県

【Point】
2017年度卒業生の33.3%が、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）以外の出身者です。

近年の採用・就職活動環境のトレンド分析



【Point】
こちらは求人倍率の推移のグラフです。
2018年3月卒の有効求人倍率は1.78倍です。

２０１７年度　就職活動市場のトレンド分析

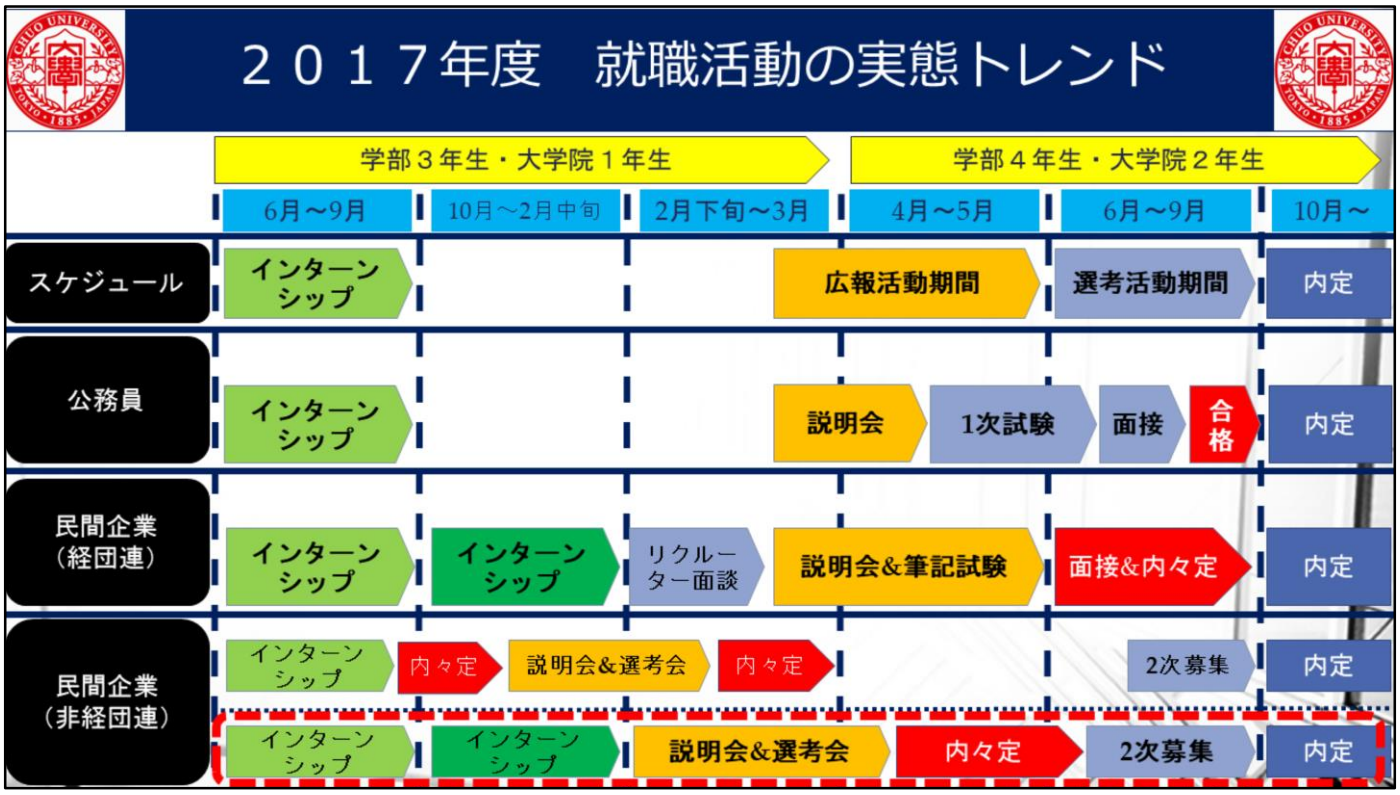
出所:ワークス大卒求人倍率調査 リクルートワークス研究所

大卒求人倍率：１．７８倍

従業員規模別・大卒求人倍率	
３００人未満	６．４５倍
１，０００人未満	１．４５倍
５，０００人未満	１．０２倍
５，０００人以上	０．３９倍

業種別・大卒求人倍率	
流通	１１．３２倍
建設	９．１４倍
製造	２．０４倍
サービス・情報	０．４４倍
金融	０．１９倍

【Point】
こちらは採用マーケットの分析です。
求人倍率が業種や企業規模で異なります。



【Point】
・採用活動の早期化にともない、学生の就職活動も年々早くなっています。
・特に、赤枠のラインが今年のトレンドです。
・インターンに参加後に、受ける業界を絞る傾向にありますが、絞りすぎで視野が狭くなる可能性がありますので、要注意です。

キャリアセンターの学生支援・指導ポリシー

キャリアセンター・サポートポリシー

キャリアセンター　サポートポリシー

「学生一人ひとりの夢を実現」

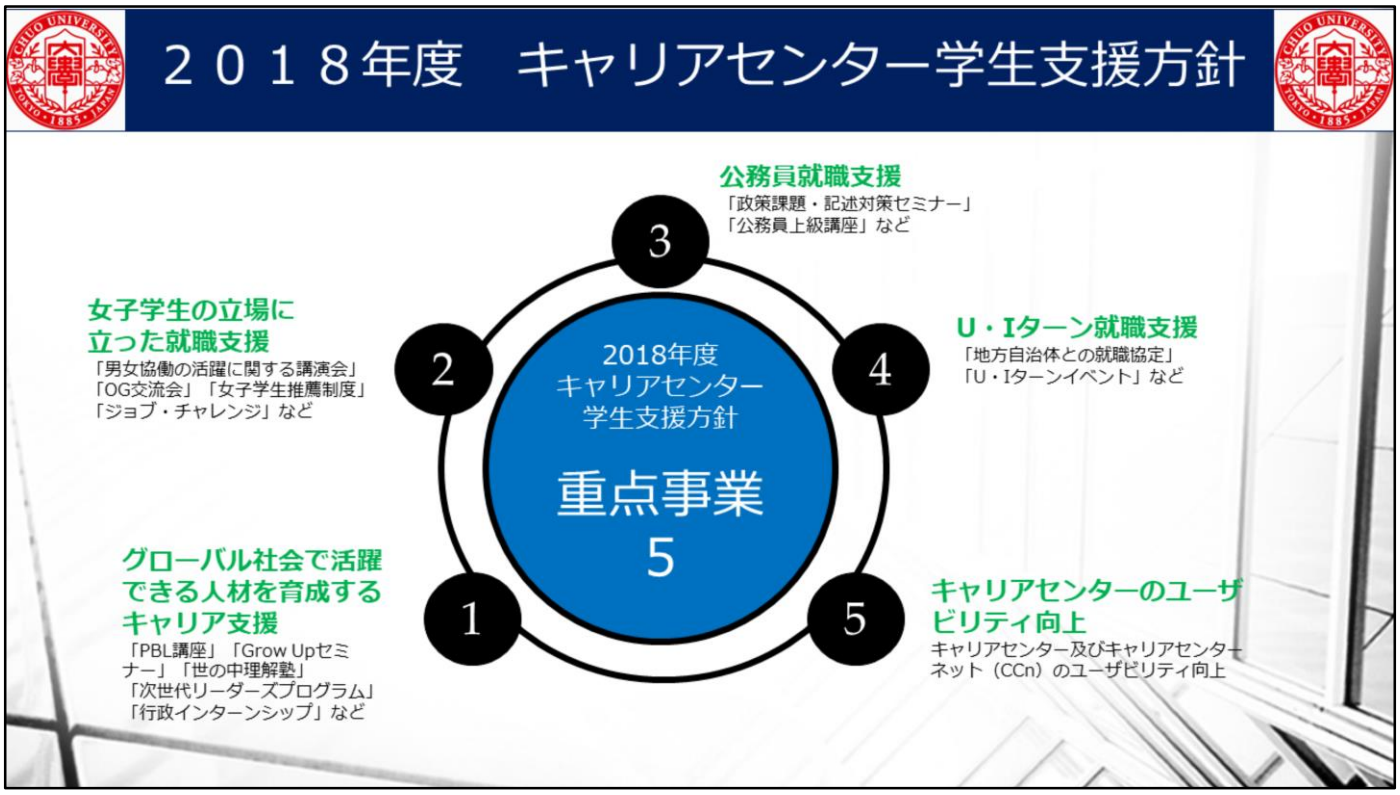
学生一人ひとりが**社会的・職業的に「自立」が図れる**ように、

①「キャリアデザイン・プログラム」

②「就職サポート・プログラム」

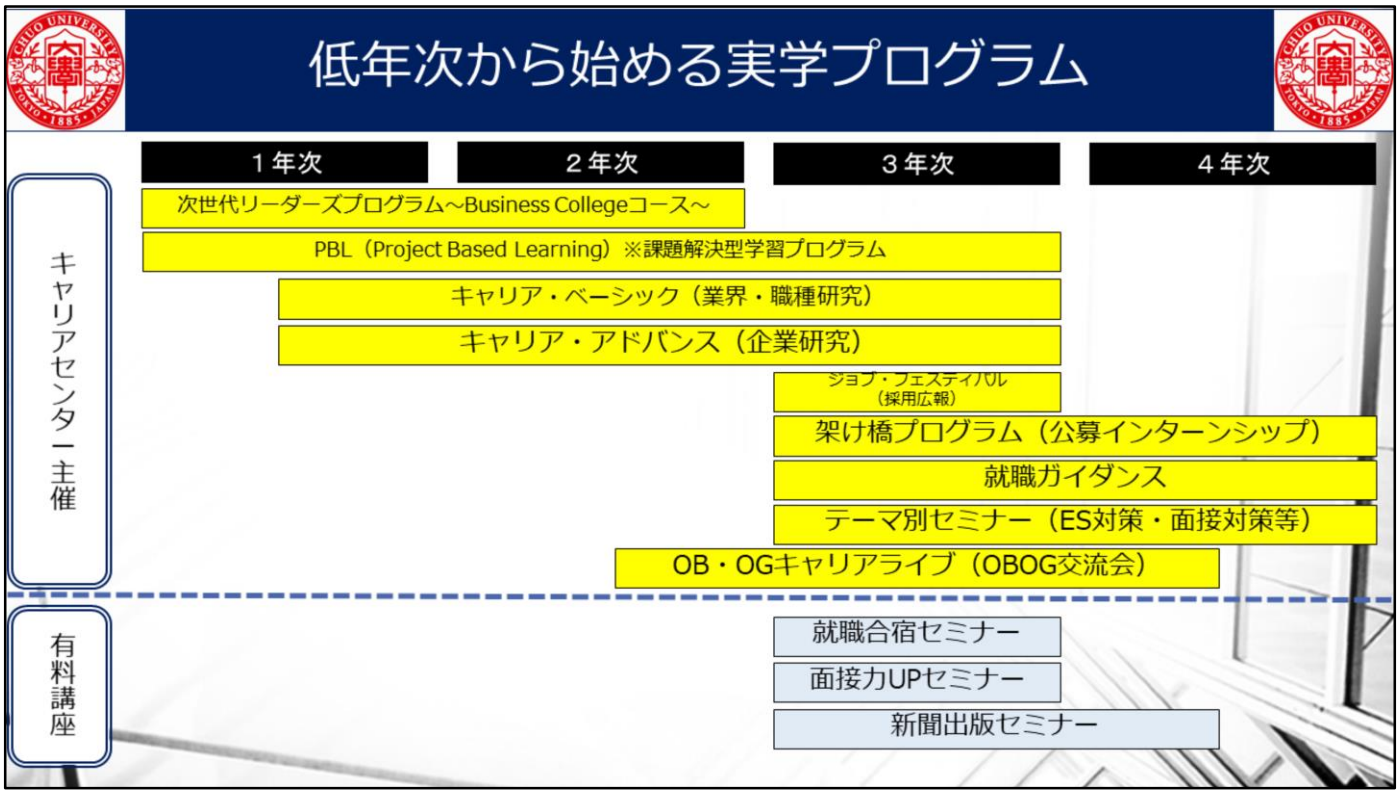
を通じて、キャリア（将来の生き方）デザイン（設計図）を描く支援を行っています。

従来の“就職”だけに特化した位置づけではなく、入学時から学生生活を通じたサポートを行っています。

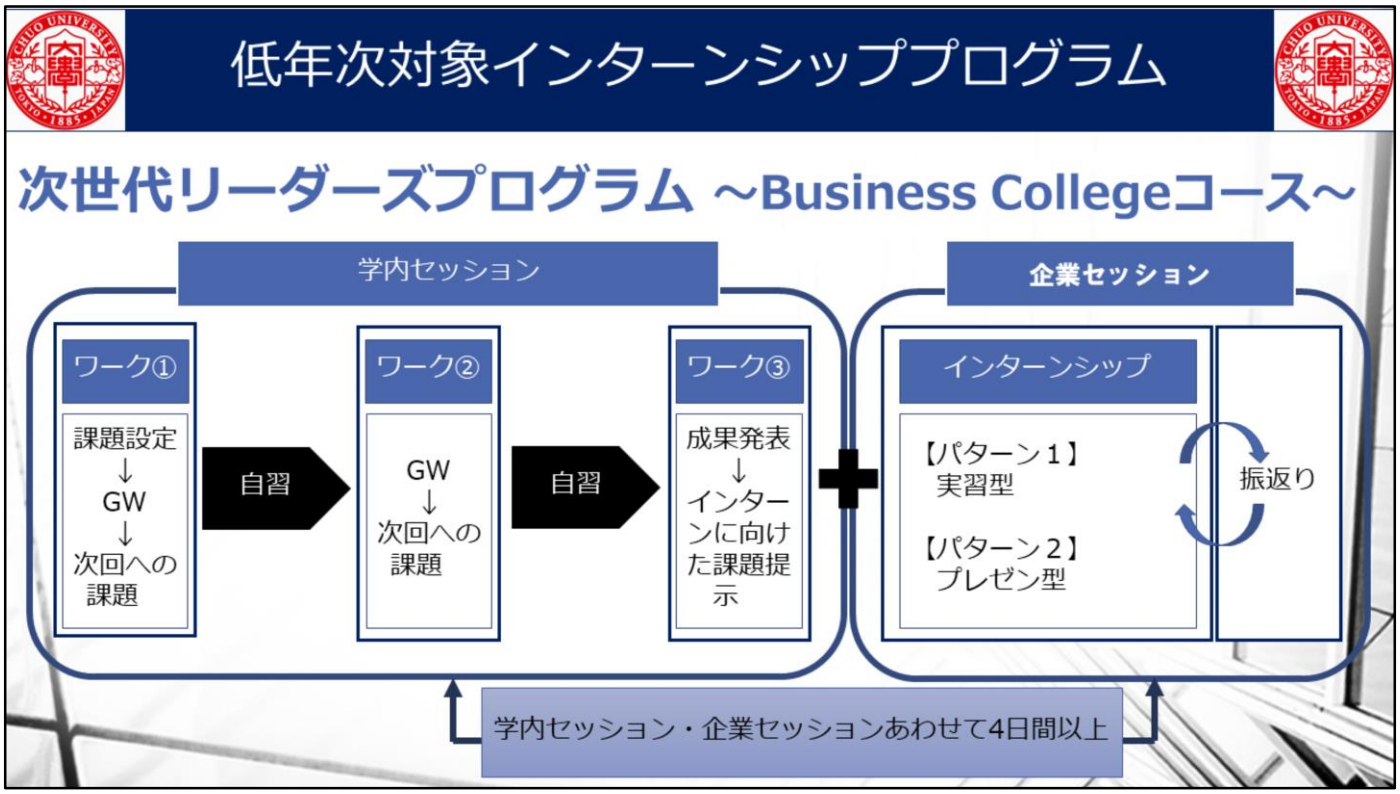


【Point】
・重点事業はその年の動向に合わせて決定し、組織的なアプローチを行っています。
・学生のニーズを的確にとらえ、戦略的な支援をすることで、学生への提供価値を高める努力をしています。

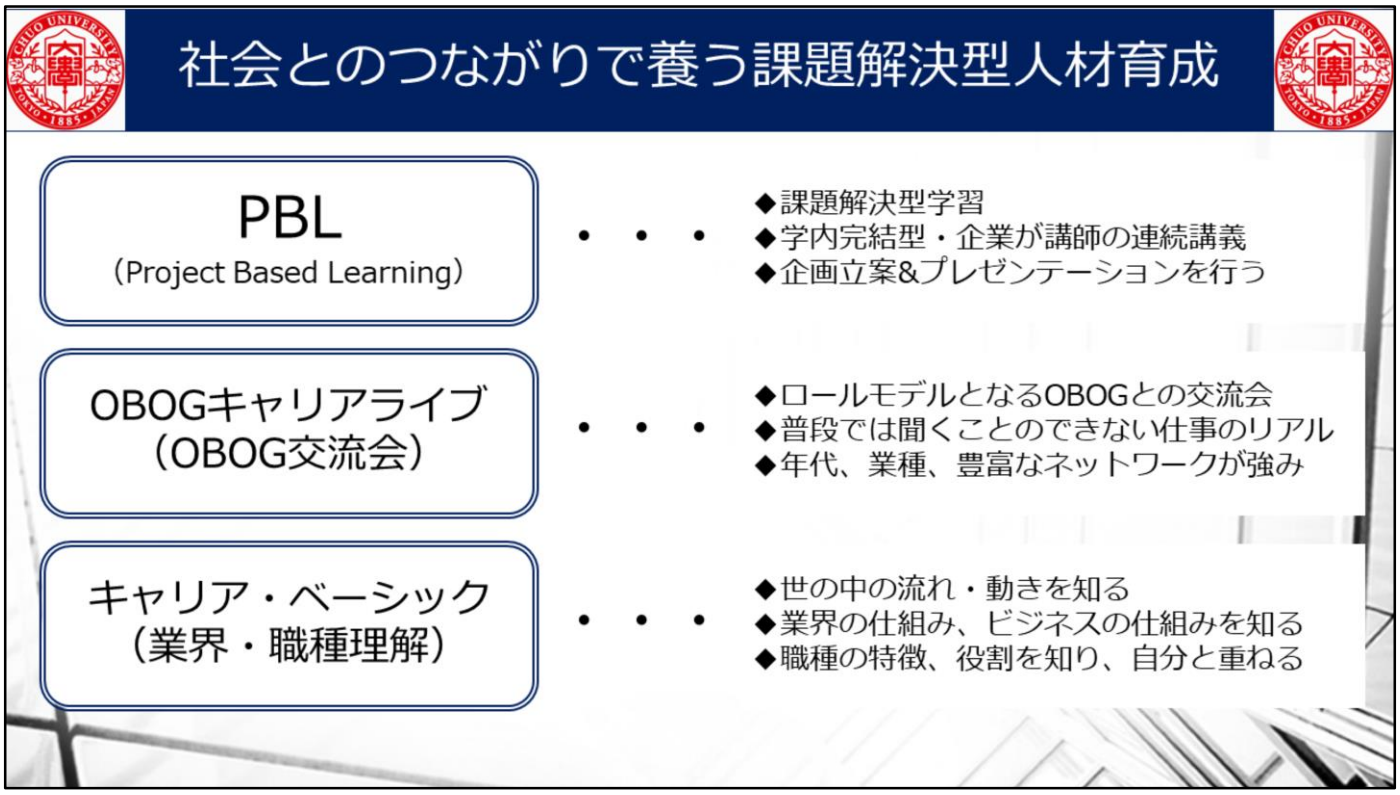
２０１８年度「重点事業５」にもとづく
主要プログラム



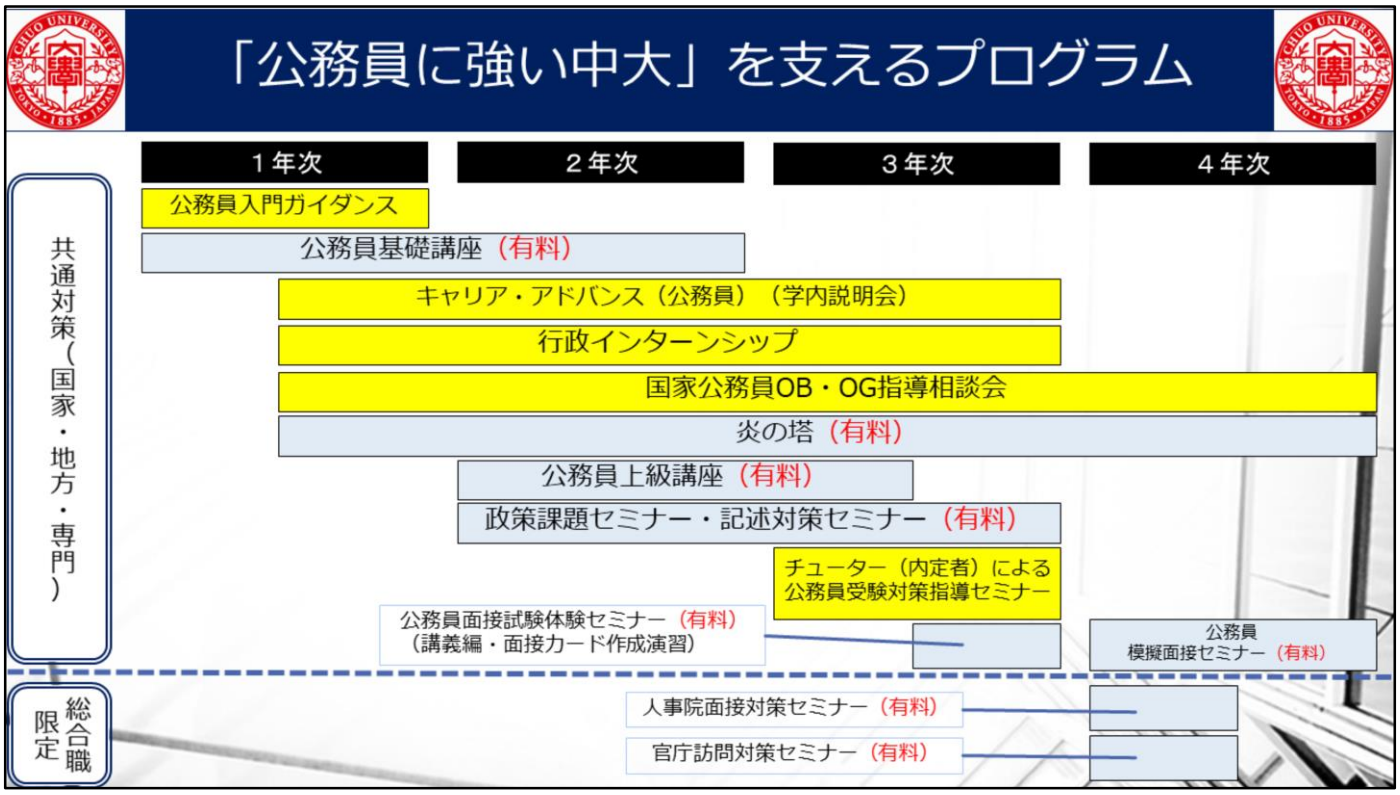
【Point】
・キャリアセンターの企画は、低年次から取り組めるものが非常に多くあります。
・就活を意識するのではなく、「社会とのつながりの中で、自らの適性や志向性を知ること」に挑戦してもらいたいと考えています。
・そのきっかけづくりをキャリアセンターは行っています。



【Point】
・他大学には類を見ない、新型のインターンシッププログラムです。
・こちらのインターンシップは低年次（１，２年生）に特化しており、学内での「座学」と学外（企業）での「実習」が学べる点が特徴です。
・このインターンシップを経験して、社会で通じる「アウトプット」とは何か？を考えて欲しいと感じています。
・ここでの気づきが、その後の学生生活の充実、さらに「真の自立」に結びつくことを私たちは目指しています。
・昨年は、8社に165名の学生が参加しました。満足度は90％以上のプログラムです。
・今年は、20社にプログラムを拡大、6月より学内セッションをスタートさせました。



【Point】
・PBLは例年人気の講座。大手企業も近年参加いただいています。
　全ての日程を学内で実施できることも魅力のひとつです。
・OBOG交流会は、学生のニーズに合わせながら、テーマを変えて複数回行っています。
　中大生のロールモデルを肌で感じ、自分のキャリアビジョンをより明確にもてるような効果を期待して実施しています。



【Point】
・中央大学の体系立てられた学内プログラムで、計画的に準備をすすめることができます。
詳細はこちらをご覧ください。（http://www.chuo-u.ac.jp/career/center/literature/employment/emp02/）
・公務員試験では人物試験がありますので、学生生活を試験勉強漬にすることなく、しっかり人間力の形成にも努めて欲しいと考えています。

UIターンプログラム～協定県との協働推進～

福岡県×中央大学
(2018.2.20)@多摩キャンパス

石川県×中央大学
(2018.2.26)@多摩キャンパス

県内企業 中央大でPR

Uターン、就職へ魅力紹介

石川県が県内就職支援協定を結ぶ中央大学と県内企業の交流会＝写真＝は26日、東京・八王子市の同大多摩キャンパスで開かれ、県出身の学生らがUターン就職活動の進め方や地元企業の魅力に理解を深めた。

2019年春卒業予定の大学生の採用に向けた企業説明会は3月1日に開始される。交流会は本格的な就活解禁を前に、人手不足が深刻な県内企業の採用を支援しようと県が開催した。恵寿総合病院、北國新聞社、三谷産業、県庁からUターン就職を経験した若手社員が参加し、「石川に戻って良かったことは何か」といった学生の質問に答えた。企業概要や業務の内容も説明した。待機児童ゼロや女性就業率全国1位、通勤時間が短い点など活躍に上り、学生は地元就職のイメージを膨らませた。

鳥取県×中央大学
(2018.3.27)@駿河台記念館

広島県×中央大学
(2017.7.6)@多摩キャンパス

岡山県×中央大学
(2018.6.4)@多摩キャンパス

【Point】
・中央大学の在籍者は、約32%が首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）以外の出身者です（2017年度現在）　。キャリアセンターでは、全国各地域へ就職を希望する方が十分な情報を元に就職活動が行えるよう支援しています。
・現在12の都府県と協定を締結しており、様々なイベントを実施しています。
・イベント会場は多摩キャンパスの教室を利用していただいたり、駿河台記念館等の都心施設を活用いただいたり、ニーズに応じて対応しています。
・参加学生からの満足度も高く、私たちも機会提供に価値を感じています。

【Point】
・学生との距離感を縮め、ニーズを的確に把握するために、Twitterなどを学生が普段使用するツールを目的別に活用しています。
・また、学生が安心して情報を取得できるように、独自のポータルサイト「CCｎ」を設け、面談予約・求人検索・インターンシップ検索など
　情報発信を行っています。
CCNのリンク
（https://jobhunterplus.chuo-u.ac.jp/portal/action/pt/f01/Uspt0101ZZ）

・就職決定時には、この「CCｎ」を通じて「進路決定報告」「就職体験記入力」を学生は行っています。
・Twitterは、キャリアセンター（文系）と世の中理解塾という２つの性格の違うアカウントを用意し、目的別に運用を行っています。

【Point】

・世の中理解塾は、キャリアセンターが新たに挑戦している「双方向コミュニケーション型コミュニティ」です。

　これまで学生の「これやりたい！」「こんなことやって欲しい！」という声は、なかなかリアルタイムに吸収することができませんでした。

　昨今の学生のニーズは、本当に速いスピードで移り変わり、トレンドも目まぐるしく変わります。

　この点に「きっとこうだろう」という大人の憶測だけでアプローチしていては、決して的確なサービスは実現できないと考えました。

　このアカウントでは、学生から匿名で質問や意見提示できる「質問箱」をリンクさせており、発信された質問等には、キャリアセンター職員が真摯に答えています。

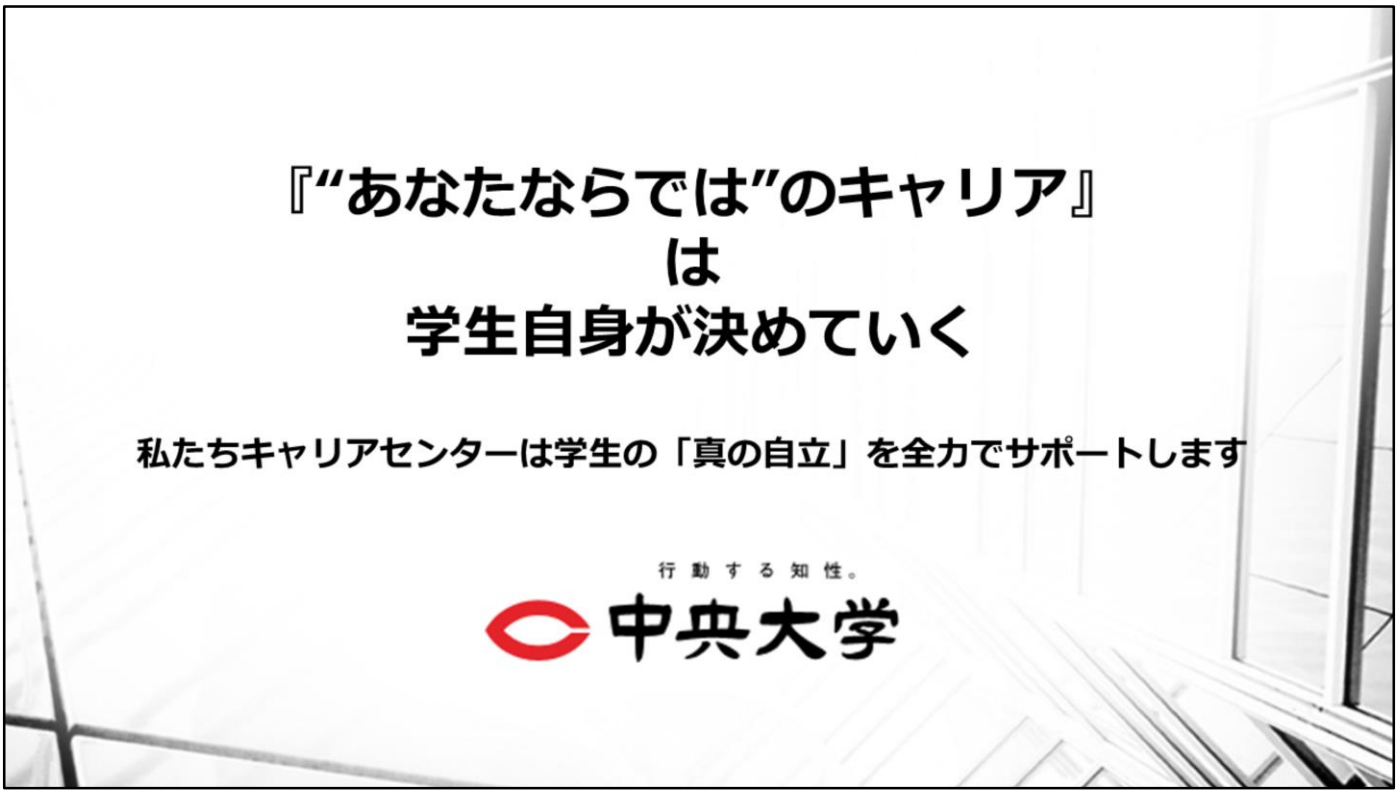
・この質問箱やアンケート等で、ぞくぞくとイベントが実現しつつあります。

　スライドにもある、「本音で語る銀行の未来」は、アカウント初の派生イベントでした。

　銀行の採用減少をうけて、心配の声から実現したトークセッションで、当日は、2人の現役メガバンク社員の本学OBが登壇し、40名の1年生～4年生までの学生に

　ざっくばらんに銀行のありのままの姿、そして、採用減少の本質を語りました。

　参加した学生からは、「これまでのメガバンクのイメージが変わった！」「大変魅力的なフィールドと感じた！」など、前向きなコメントが多数寄せられました。



私たちキャリアセンターは学生の「真の自立」を全力でサポートしています。
ご不明点等ございましたら何なりとお申し付けください。

（お問い合わせ）
●求人およびその他総合的なお問い合わせ
　042-674-3500
●学内での説明会等に関するお問い合わせ
042-674-3502
●インターンシップに関するお問い合わせ
042-674-3502
●理工学部・研究科生を対象とする求人等のお問い合わせ
03-3817-1970
●お問い合わせフォーム（文系）
https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=42
●お問い合わせフォーム（理系）
https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=117